



利用者さま、ご家族さまへ情報をお届けします



### パーキンソン病とリハビリテーション

パーキンソン病 (Parkinson's disease) というと元世界ヘビー級チャンピオン、モハメド・アリや『バック・トゥ・ザ・フューチャー』主演俳優マイケル・J・フォックスが有名ですが、脳内のドーパミン不足を病態とし、錐体外路系徴候 (錐体外路症状) を示す進行性の疾患です。神経変性疾患の一つであり、その中でもアルツハイマー病について頻度の高い疾患と考えられており、難病 (特定疾患) に指定されています。

50~60 歳以降の高齢に発症が多く、有病率は人口 10 万対 100~150 人程度とされる。主な症状は安静時の振戦 (手足のふるえ)、筋強剛 (手足の曲げ伸ばしが固くなる)、無動・動作緩慢、姿勢反射障害の運動症状、四大徴候を中核としている。非運動障害として起立性低血圧や便秘などの自律神経障害、抑うつや幻覚などの精神機能障害、不眠や覚醒リズム障害などの睡眠障害、疼痛や臭覚障害などの感覚障害があります。進行性の病気が症状の進み具合は通常遅いため、いつ始まったのか本人も気づかないことが多く、また経過も長い。

理学療法診療ガイドラインには次のことが記載されています。

パーキンソン病の機能回復にリハビリテーション、複合的運動は歩行速度、バランス能力、筋力、関節可動域、ADL 能力などの機能改善に有効であることはエビデンスレベル、グレード A で強く推奨される。

歩行速度やバランスの改善にはホームプログラムの実施や在宅での運動療法は有効である (グレード B)。

リズムカルなメトロノーム様の音や光、振動など感覚刺激は歩行速度、歩幅、方向転換時間、すくみ足などの改善がみられる (グレード B)。

これらの指標を生み出した数多くの研究者に感謝して、在宅の患者様に少しでも日々貢献できますよう頑張ります。

(熊澤・理学療法士)



中部メディカル新聞は皆さまの情報をお待ちしております



今回は、利用者からの出題などなぞです。

- 問題 1. お腹から食べて、背中から出すものなーに？
- 問題 2. 切っても切っても切れないものなーに？
- 問題 3. 骨を折って働くと、しかられる商売ってなーに？
- 問題 4. 頭の失敗おしりで解決！なーに？

今回も利用者 S 様からの出題です。  
素敵な問題ありがとうございます。

(山田・看護師)

先月号の答えは  
「美空ひばり」さんでした。



### 中部メディカル 訪問看護ステーションの理念



- **こころを大切に** (ご本人とご家族のこころを大切にします)
- **連携を大切に** (地域のケアチームと親密で良好な関係を築いていきます)
- **スピードを大切に** (出来る限り早く対応して信頼されるステーションを目指します)



訪問看護、訪問リハビリについてのご質問ご相談のお電話、メールをお待ちしております。

### 中部メディカル 訪問看護ステーション



〒463-0048 名古屋市守山区小幡南三丁目 17-31 B-3

TEL 052-792-9802 FAX 052-792-9803

携帯 080-5298-9513

E-mail chubucare@arion.ocn.ne.jp

HP <http://www.chubu-med.com>



## 中部メディカルの看護師便り

5月の休日に犬山にある明治村に行ってきました。今、明治村では「明治探検隊」と言う謎解きゲームが開催されています。

数年前より探検隊のファンになり毎年楽しみにしているイベントです。この謎解きなかなか難しく子供より大人のほうが楽しんでいます。当事業所のもう一人の看護スタッフも毎年楽しみにしているようです。明治村は新緑がとても気持ち良く沢山歩きよい運動になりリフレッシュできました。また、教会では結婚式（もちろん本物ですよ）にも遭遇しとても幸せな気分になりました。みなさまも一度お出かけになられてはいかがでしょうか？（松本・管理者看護師）



## 社内勉強会（電話対応）

5月18日、社内にて、電話対応についての勉強会を行いました。

電話の素敵な対応を、当社では「電話美人」と呼んでいます。電話先から明るく爽やかな声が届いてきたら、なんだかとても嬉しい気分でお話できますよね。爽やかな第一声は「ミ♪」の音がポイントなのだそうです。

電話＝「伝話」

伝えたい、伝えようとして下さっている話がスムーズに伝わるよう、ゆっくりと正確にお話できるよう、留意点を皆で確認し合いました。お昼の短い時間ではありましたが、ポイントをおさえて、じっくりと対応を勉強することが出来ました。

さわやかな対応のできる「電話美人」を目指してがんばります！

（山田・看護師）

いつもお世話になっております



## スタッフのほっと一息

今回は少し足を伸ばして、西区にあるパンケーキカフェ「88 (ユイット ユイット)」さんへ行ってきました。

デザート系パンケーキに惹かれましたが、ランチタイムでしたのでロコモコ風パンケーキを注文しました。ハンバーグも分厚く目玉焼きも半熟で絶妙でした。パンケーキと聞くと軽い感じがしますが、サラダの量もかなりあるのでランチタイムにぴったり！食べてから気が付きましたが、お店で1番のがっつりメニューと書いてあり、その通り満腹になりました。次はぜひデザート系のパンケーキを食べてみたいと思います。名古屋市内に2店舗しかありませんので、みなさんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

（三宅・看護師）



## 私の18のビリーフ 11番「立腰」

立腰とは、哲学者・教育者である森信三（もりしんぞう）先生が提唱された、腰骨（こしほね）をいつも立てて曲げないようにすることにより、自己の主体性の確立をはじめとした人間形成を実現する、極めて実践的な方法です。

わたしたちは立腰に誇りを持っています。それは良い心構えを表わして、怠惰や疲労を防止するからです。いつも立腰を意識し実行しています。（熊澤真・専務）

